

休日には、市内観光も行いました。ホームステイ先やレストラン、お店などでも積極的に英語を使い、自然に英会話の力が身につくよう努力しました。2週間はあつという間でしたが、とても楽しく貴重な経験をすることができました。

シンガポールへ初の海外経験となったシンガポールへの短期留学はとても充実したものでした。授業では先生が英語のみを使用し、テキストとプリントを使って学びました。私のクラスは少人数で日本人が多くいたため、安心して授業を受けることができました。英語でのプレゼンテーションは難しく、事前の準備にも力を入れて取り組みました。英単語をいかに多く覚えているかが重要だと感じました。

シンガポール 武藤優人さん(人間3・福島県福島東高)

シンガポール 山岸和美さん(人間3・福島県学法福島高)

私のクラスはグループやペアでの活動が中心で、伝言ゲームやクイズ形式の問題でウォーミングアップをした後、教科書とスライドを使って授業が行われました。先生の話すスピードやテンポよく進む授業についていくのが大変でした。ホームステイ先では夕食時などに、普段のよき生活を送っているのか、家族のことや行事などについて互いに話をしました。

今回の研修では、授業と日々の生活を通じてリスニング力が向上したと感じています。多様な出身地のクラスメートと放課後や休日にも行動を共にすることが多いので、互いの国の文化の違いや共通点など、新たな発見が得られた有意義な留学となりました。



## 参加学生の現地レポート

本学では、語学学習や異文化体験を通じて国際感覚を養うための海外研修プログラムを開催している。

今年は8月28日から9月11日の15日間、シンガポールと米国・サンタバーバラで「海外語学研修」が行われ、3人の学生が参加した。帰国した3人に、現地での学修や生活についてレポートを寄せてもらつた。

11月の15日間、シンガポールで「海外語学研修」が行われ、3人の学生が参加した。帰国した3人に、現地での学修や生活についてレポートを寄せてもらつた。それでも、家に帰つたら毎晩会話をいそ景象のフレーズを覚え、日本アニメの話題などをきっかけにたくさんの友達ができました。

①最終日にクラスメートと。前列左から2人目が武藤さん  
②プレゼンする山岸さん(左)  
③グランドキャニオンを訪れた斎藤さん

# 石巻専修大学

●「石巻専修大学」ホームページ ● <https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/>

石巻専修大学  
広報係  
TEL: 0225-22-7717(直)

最新の情報は  
大学HPで。



米国

斎藤慎悟さん  
(理工3・山形県上山明新館高)

日本で習うよりも実用的な単語や文法を学ぶ現地の授業は難しく、最初の3日間はほとんど発言できませんでした。それでも家に帰つたら毎晩会話をいそ景象のフレーズを覚え、日本アニメの話題などをきっかけにたくさんの友達ができました。

サンタバーバラは治安が良  
く、にぎやかな町です。学校のア  
クティビティではグランドキ  
ャニオンなどにも行きました。  
周りのすべてが英語という環  
境に初めは戸惑いましたが、き  
れいな文法にこだわることなく、積極的に言葉を発し続ける  
ことで自然と英語力が伸びまし  
た。自分のことは自分で何とか  
する自立心が身についたこと  
も今回の留学で得た収穫です。

手作り自動車省燃費競技大会

理工業部機械工学科の川島純一研究室と三木寛之研究室の学生たちが、

9月17日に宮城県運転免許センターで開かれた「第33回手作り自動車省

燃費競技大会」に出場し、「研究室の汽車号」は規定

準優勝を果たした。

同大会は15歳のガソリ

ンで何キ走行できるかを競うエコランレース。中

國語で「三木研究室の自

動車」を意味する「三木

岩ヶ崎高(宮城県)が参

加した。

同プログラムは8月22日~26

日の5日間、東北福祉大学仙台

駅東口キャンパスで開かれ、宮

城県、岩手県、山形県の大学や

高等専門学校9校から学生16人

が参加。地域課

## 川島・三木研究室が優勝



鈴木聖矢さん(理工3)

どちらの大会も4年次  
切り、大学・高専分門で  
唯一、チェックマークフラッ  
グを受けて優勝。コロナ  
禍で中止された2020  
年、21年を挟み、大会3  
連覇となつた。

中国出身の鄧樂遠さん  
(4年次・三木研究室)  
は「優勝を目指して頑張  
ってきたので、願いがかなつ  
ってうれしい」と話した。  
本学初の女性ドライバーを務めた大槻愛叶さ  
ん(1年次・宮城県仙台育英学園高)は「トラブ  
ルなく走破できたのは先輩たちのおかげ。来年も連覇したい」と力強く宣

時間内に規定周回を走り  
切った、大学・高専分門で  
唯一、チェックマークフラッ  
グを受けて優勝。コロナ  
禍で中止された2020  
年、21年を挟み、大会3  
連覇となつた。

どちらの大会も4年次  
切り、大学・高専分門で  
唯一、チェックマークフラッ  
グを受けて優勝。コロナ  
禍で中止された2020  
年、21年を挟み、大会3  
連覇となつた。

# 石鳳祭



2022石鳳祭が10月8、9の両日に行  
催された。メインステージでは実行委員  
会考案のクイズ大会や音楽系サークルなど  
によるライブなどが実施された。台風  
と新型コロナの影響で、全企画が対面形  
式で行われるのは4年ぶり。多くの学生  
や地域住民らが来場し、石巻専大生が生  
み出す祭りの熱気を楽しんだ。

実行委員長の鳥井潤太さん(理工3・  
福島県福島西高)は「伝統を受け継ぎな  
がらも、新しい石鳳祭を作ろうと実行委  
員全員で取り組んできた。来場した皆さ  
んが楽しそうに過ごしている様子を見て、  
努力が報われた」と話した。



### オンライン受験相談会

開催日	予約受付期間
11/23(水・祝)	11/9~11/16
12/10(土)	11/25~12/2

【開催時間】10:00~14:00

Zoomを利用したオンライン形式で  
実施。各学科の学びや入試制度、学生  
生活や奨学金など、さまざま  
な質問に入試スタッフと学生が答える。詳細  
はQRコードから。



本学は、宮城県気仙沼  
向洋高校と高大接続研究  
事業に関する協定を締結  
した。

これまで、同校とは震  
災復興に向けた取り組み  
などで協力関係を築いて  
きた。今回も貴重な経験を  
もつてからも生かしていく  
ことを目的とした。

### 気仙沼向洋高と協定締結

### 高大接続研究事業

これまで、同校とは震  
災復興に向けた取り組み  
などで協力関係を築いて  
きた。今回も貴重な経験を  
もつてからも生かしていく  
ことを目的とした。

挑戦を通じて、学生たち  
は今後につながる貴重な  
経験を手にした。

5日間の活動を振り返  
り、「初対面のメンバー  
とのグループディスカッ  
ションは難しかつたが、  
話をよく聞き、分からな  
いことは理解できるまで  
質問し、考えを一致させ  
ながら進めることができ  
た。今回の貴重な経験を  
アドバイスして貰  
うことで、他の学生たち  
に役立てたい」と話した。